

## 協力会の支援を受けて「かわさき市民祭り」で広報活動



自衛隊ブースの支援を行う  
自衛隊川崎地区懇話会会長



川崎地区自衛官募集相談員会会長

神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 荒木3陸佐）は、11月2日（土）及び3日（日）、川崎市で開催された「第37回 かわさき市民祭り」に自衛官募集相談員、懇話会、父兄会等の協力者の方々の支援を得て広報活動を行った。

「かわさき市民祭り」は、川崎市最大規模の祭りであり、50万人を超える来場者に川崎の魅力を発信している。広報ブースでは、南極の氷と石のふれあいコーナーや写真パネルの展示、迷彩服の試着コーナー等を展開したが、迷彩服の試着コーナーは、1000人を超える子供達で長蛇の列が出来た。協力者の方々からは、「沢山の来訪者で良い広報活動になったね」という言葉が聞かれた。

川崎出張所は、「今後も、協力者の方々のご支援を頂きながら、親しみやすい自衛隊をPRしていく」としている。

## 足柄産業フェアでPR



自衛官募集ブースの状況



神奈川地方協力本部小田原地域事務所（所長 林1陸尉）は、11月2日（日）、足柄産業フェア（南足柄市）に広報ブースを出展し、自衛隊をPRした。

広報ブースでは、自衛官募集相談員や自衛隊協力会の支援を受け、陸海空自衛隊の装備品写真パネルや広島土砂災害時の災害派遣の写真パネルの展示及び子供用迷彩服の試着を行った。ブースには多くの方々を訪れ、その中に、自衛隊協力会に入会を希望する方が現れるという、思わぬ成果も得られた。

小田原地域事務所は、「引き続き、南足柄市を含む2市8町の地域に密着した広報活動を行い、自衛官の募集につなげていく」としている。